

## SPRESENSE™



## Accelerating Edge Computing

Spresense は、ソニーの低消費電力のIoT向けスマートセンシングプロセッサ「CXD5602」を搭載したコンパクトな開発ボードです。マルチコアプロセッサによる豊富な演算能力で本格的なエッジコンピューティングを電池で実現することができます。ソニーが提供する「Neural Network Console」と連携すれば、画像や音声を認識する人工知能の開発が簡単に行えます。

低消費電力  
マルチプロセッサ

「CXD5602」は、最高クロック周波数 156MHz、コア電圧 1V または 0.7V で動作可能な「ARM® Cortex® M4F」を 6 個搭載しています。

高音質オーディオ  
出力

192kHz/24bit のハイレゾ音源が再生可能なオーディオコーデックをサポートしているだけでなく、BTL ステレオ出力をサポートした D 級アンプを内蔵しています。



## マルチマイク入力

アナログマイクなら最大 4ch、デジタルマイクなら最大 8ch の同時録音が可能。全てのチャンネルで、192kHz/24bit のハイレゾ録音ができます。



## カメラ機能搭載

ソニー製 500 万画素 CMOS センサーを搭載したカメラボードと、CMOS8 ビットパラレル専用インターフェースで接続できます。



## GPS 機能搭載

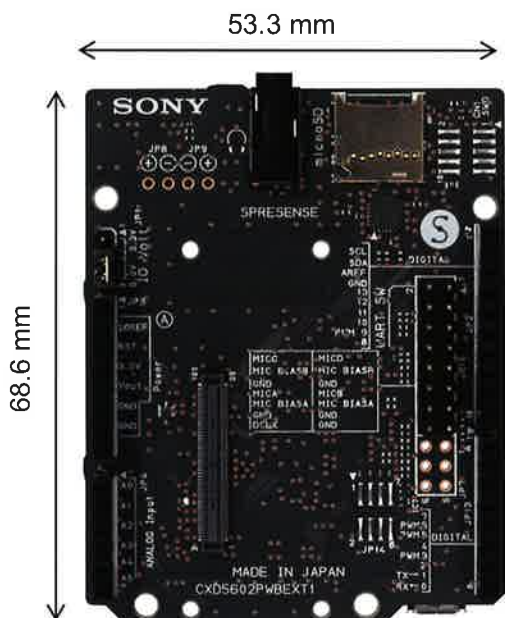
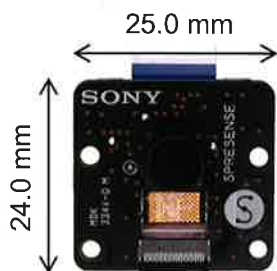
GPS/ みちびき /GLONASS をサポートし、世界各地で高精度な位置情報の取得が可能です。



## オープンプラットフォーム

SPRESENSE のソースコード、回路図を含むすべての技術情報が公開されています。





#### SPRESENSE CAMERA BOARD

解像度	2608(H) x 1960 (V)
カメラ I/F	CMOS 8 bit 平行
制御 I/F	I2C
FOV	78 ° ± 3°
F 値	2.0 ± 5%
フォーカス	固定焦点 (77.5cm ~ ∞)

#### SPRESENSE MAIN BOARD

CPU	ARM® Cortex® -M4F x 6
クロック周波数	最高156 MHz
SRAM	1.5 MB
ROM	8 MB
デジタル I/O	GPIO, SPI, I2C, UART, I2S
GNSS	GPS, みちびき, GLONASS

#### SPRESENSE EXTENSION BOARD

オーディオ I/O	4 ch アナログマイク入力または 8 ch デジタルマイク入力
	ヘッドホン出力
デジタル I/O	3.3 V or 5 V digital I/O
アナログ入力	6 ch (5.0 V range)
外部メモリ I/F	microSD カードスロット



Accelerating Edge Computing

ツイッターで最新情報を発信しています

@SonyDevJapan

<https://twitter.com/SonyDevJapan>

